

託麻原小学校だより

No.4

みどりの風

2nd
シーズン

R6 (2024).7.4

文責：佐藤真司

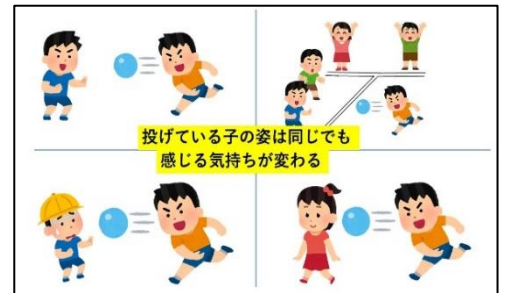
いま か

今変わらないで、いつ変わる

か

少し前の話になりますが、6月は「心のきずなを深める月間」でした。講話集会では、右のようなスライドを使って、相手の気持ちや立場に立って考え行動すること、いじめをしない、させない、ゆるさないことについて話をしました。

私の問いかけに対し、全校児童の前で、手を挙げて発表しようとしてくれる子どもたちがたくさんいたことをとてもうれしく思いました。



その後、人権に関する授業が各学年で行われました。

子どもたちは教材を通して考え、友だちの意見を聞き、これまでの経験を振り返りながら、これからの自分についてまとめられました。

あまり思い出したくないような苦い経験や、傍観者として見ていた以前の自分を振り返りながら、なかまに感謝する気持ちを綴っている子もいました。

誰しも楽しい日々ばかりではありません。うまく行かなかったり、嫌な場面に出会ったり、苦しかったり悲しかったり腹が立ったりすることもあるでしょう。

それらを乗り越えながら、今の自分を見つめ直し、なかまとともに成長していこうと頑張る子どもたちの姿に、私自身が教えられる毎日です。



『今変わらないでいつ変わる』というように、今変えようと思います。自分がいるのはみんなのおかげです。

人権学習後の6年生の綴りより



引き渡し訓練ならびに授業参観・学級懇談会には、雨だったり猛暑だったりのハードな天候にもかかわらず、たくさんの保護者の皆さまに来校いただきありがとうございました。ご理解とご協力がとても心強いです。今後ともよろしくお願ひいたします

